

社会科学習指導案

日 時 10月28日(水) 5時間目
児 童 富良野市立富良野小学校
4年2組 39名
指導者 教諭 佐々木 智 史
場 所 第1音楽室

1 単元名 「わたしたちの北海道～北方領土ってどんな所?～」

◆児童の実態◆

- ①「北方領土」について知っていることを教えてください。
 - ・知らない (36)
- ②「ロシア」について知っていることを教えてください。
 - ・知らない (28) ・大きな(広い)国 (4)
 - ・寒い (4) ・ロシア料理 (2)
 - ・人口多くない (1) ・首都モスクワ (1)
 - ・ナポレオンが遠征をした (1)
- ③「根室市」について知っていることを教えてください。
 - ・知らない (26) ・北海道にある (5)
 - ・北海道の東の方 (1)
 - ・遠い町みたいな場所 (1)
 - ・あまり大きい町ではない (1)
 - ・根室カニがいっぱいとれる (1)
 - ・田舎で畑がいっぱいある (1)
 - ・利尻島に行く船が出る (1)

2 子どもの実態と社会科で目指す子ども像

北方領土問題は、子どもたちが住む北海道の地域的な問題ではなく、国際的な問題である。

元島民を中心にビザなし交流を通しながら相互理解を深めようと地道な活動が続けられているが、60余年の時間の経過の中で返還に対する国民の意識は高いとは言えず、北海道に住む者でも根室から離れた地域では領土問題を正しく認識している人は少ない。まして、児童にとっては、自分の周りの生活と遠く離れた事象であることは否めない。

本学級の児童は、インターネットの検索やインタビュー等の調べ学習を好み、自分たちの疑問や調べてみたいことを自分たちで解決しようとする学習を積み重ねた。富良野市の様子(農業、工業、公共サービス)を知る学習では、仕事の目的や内容とともに、そこで働く人たちの苦労や働きがい等にも迫ることができた。実態調査の結果から児童

にとって北方領土問題の知識は少なく、加えてロシアに対する理解も十分とは言えなかった。

そこで、本単元では、写真や映像を基に自分たちが暮らす富良野市と択捉島のちがいを見つける活動を通して北方領土の「現在」を感じとれるようにしたい。

その上で領土問題の歴史的経緯を説明することで領土に対する問題、また、それに携わってきた人々の努力に気づかせたい。

さらに、元島民の願いや思いに触れさせることで、今後、領土問題にかかわる情報を集めるなど関心を高めていきたい。

4年生の社会科で 目指す子ども像	地域社会の中で、よりよい生活を作り出そうと努力している人々の営みを考え、その良さを共感し、地域社会に参加していこうとする子ども
本単元で目指す 子ども像	北方領土に問題が存在することを理解し、自分のくらしと島のくらしのちがいや人々の願いや思いを調べることを通して、北方領土に関心をもつ子ども

3 単元の指導と評価規準

【本時 1/5】

学習過程		おもな学習活動	教師のはたらきかけ	評価規準
1	事象との出会い	択捉島の映像や写真をもとに、北方領土の様子を知り、領土問題の存在に気づく。	択捉島の映像や写真を提示し、富良野市との違いを見つけるように働きかけ、北方領土問題に気づかせる。	関心 富良野市と択捉島を比較し、択捉島の様子に関心をもつ 理解 北海道にロシア人が住む町があることを知ることができる。 (北方領土問題があることを知ることができる。)
2	課題設定	富良野市との違いから、さらに詳しく調べてみたいことをもち、解決の見通しをもつ。	調べたいことを明確にさせるとともに、必要に応じてグループを作り、資料等の案内をする。	思考 北方領土について自分で詳しく調べたいことを見つけることができる。
3 4	追求・解決 調査・まとめ	課題に沿って資料を探し、分かったことや気づいたことをまとめる。	自分が分かったことを友だちにも分かるようにまとめるよう働きかける。	関心 課題解決のために進んで調べようとしている。 技能 資料の言葉を自分の分かる言葉になおし、みんなも分かるように心がけて模造紙にまとめようとする。
5	発表・意見交流	まとめたことを発表し合い、現在の北方領土の様子をたくさん知る。	友だちの発表を聞くことを大事にし、みんなで北方領土の様子を共有できるようにする。	理解 自分で調べことや、友だちの発表をもとに、北方領土の現在の様子を詳しく知ることができる。

4 本時の学習

(1) 本時の目標

自分たちの住む北海道にはロシア人が住んでいる町（北方領土問題）があることを知り、そこに関わって生活している（いた）人々の様子や気持ちに触れ、関心を高めることができる。

(2) 具体的な手だて

択捉島の様子が分かる映像や写真を紹介し、富良野市との違いや現在との違いを見つけ確かめ合う。同じ北海道に住みながら様子の違う北方領土に関わって生活している人々の現状や心情に触れながら、今後も北方領土の様子に興味・関心がもてるようにする。

子どもの活動と思考の流れ	教師の支援と評価	支援が必要な子への手だて
○本時の課題を知る。	●課題を提示する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <h3 style="margin: 0;">北方領土ってどんな所？</h3> </div>		
<p>○『日本のある町と富良野市との違い』を見つけながら、択捉島の様子（写真）を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物がちがう（古い、さみしい、田舎等） ・ロシア人（外国人）がいる ・ロシア語がある ・ご飯がちがう（パン、ボルシチ等） ・お店の雰囲気がちがう（スーパーやコンビニのようではない） 	<p>●択捉島（日本のある町）の様子を紹介する。富良野市との違いを、メモを取りながら見つけるように指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街並みの写真 ・食事の写真 ・お店の品物の映像 ・子どもたちの写真 <p>※子どもから質問があればそれに答えながら写真を紹介する。</p>	<p>○子どもたちのワークシートの様子を見ながら、気づいたことは何でもいいのでどんどんメモをとるように声をかける。</p>
<p>○富良野市との違い発表し、また友だちの意見にも耳を傾け、現在の択捉島の様子を知る。</p>	<p>●ワークシートに書いた富良野との違いを発表するように促し、整理する。（現在の択捉島の様子を共有できるようにする）</p>	<p>○指名順等に配慮し、何を話してもいいような雰囲気の中で、自分で見つけた違いを出し合う。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <h3 style="margin: 0;">現在、北方領土にはロシア人が住んでいる</h3> </div>		
<p>○択捉島の「今」と「昔」をくらべながら写真を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人がいる（日本人だらけ） ・ロシア人がいない 	<p>●太平洋戦争前の択捉島の写真を紹介し、今と昔との違いを見つけるように指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人が写っている写真 ・建物、家屋（今でもありそうな 	<p>○人や建物の様子から違いを見つけ出せるかどうか、焦点をはっきりさせるアドバイスをする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>自分たちの住む北海道にはロシア人が住んでいる町（北方領土問題）があることを知る（ワークシート、発言）</p> </div>		

	<p>日本的な建物)</p>	
<p>昔（64年前まで）、北方領土には日本人が住んでいた</p>		
<p>○地図で「北方領土」の場所を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富小から鳥沼までの半分の距離 ・富良野市から見て東側（北東） ・思ったより近い ・3つの島と1つの小さな島々のかたまり <ul style="list-style-type: none"> ・初めて知った ・ロシアずるい ・近いのに、なかなか近寄れない（危ない） 	<p>●地図を使い、北方領土の位置を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土までの距離（一番近くて3.7 km）と納沙布岬の写真を紹介する。 ・北方領土とは択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島を指し、日本の領土であることを伝える。 <p>●北方領土は日本の領土であり、戦争でロシアに占領されたことを説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁船拿捕事件の記事（近寄れない） 	<p>○実際に地図上に指を差しながら、位置や距離感をつかめるようにする。</p>
<p>北方領土は、自由に行けない場所です</p>		
<p>○感想をメモしながら、元島民と現島民の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元島民の人はかわいそう ・もっと自由に行かせてあげたい ・ロシアと日本はもっと仲良くしたらいい ・もっと交流したらいい ・郵便局を一緒になおしてほしい <ul style="list-style-type: none"> ・ロシアは早く日本に返してほしい ・どうして返してくれないんだろう ・ロシアはずるい <ul style="list-style-type: none"> ・追い出したらロシア人もかわいそう 	<p>●元島民の話、現島民の話を紹介する。ワークシートにメモをとりながら聞くように指示する。（ペーパーサートのなもの）</p> <p>①元島民の話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼いころ（今のみんなと同じ年のころ）をすごしたふるさとだから、自由に行き来したい ・お父さんやお母さんががんばってくらしていた場所だから、早く返してほしい ・ロシア人のことはあまりよく分からないけど、ロシア人と日本人はもっと仲良くなれるはず。 ・今住んでいるロシア人にとってもふるさとになのだから、ロシア人を追い出すことはしたくない（自分たちのような目に合わせたくない） 	<p>○「そう思う」「違うと思う」等、聞き方のヒントを与え、何かを感じとることができるようにする。可能であれば「理由付け」もできるようにする。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・択捉島に行ってみたい ・ロシア人と会ってみたい ・ふ～ん ・へえ～ 	<p>②現島民の話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わがロシアの択捉島へようこそ ・根室では、私たちをかんげいしてくれてうれしかった。それ以来、日本に興味を持っている。 ・郵便局の建物を日本人と一緒になおして、一緒に作業した証拠として残していきたい。 ・近くのとりの国どうしだからこそ、もっともっとお互いを知り、いろいろな交流をしたい。(少年の訪問、自然保護、温泉) 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>北方領土で生活している(いた)人々の様子や気持ちに触れ、関心を高めることができる。(ワークシート、発言)</p> </div>
---	---	---

(3) 本時の評価

自分たちの住む北海道にはロシア人が住んでいる町(北方領土問題)があることを知り、そこに関わって生活している(いた)人々の様子や気持ちに触れ、関心を高めることができたか。